

日本語「日本文化」 伝統工芸について

3年生で学ぶ日本語では、日常生活の「衣」「食」「住」「楽」「技」を中心に「日本の文化」について考えていきます。その中で、今回は「技」について着目し、修学旅行で訪れる京都の伝統工芸の知識を深めていきます。

日本には古くから受け継がれている伝統的な技術が数多くあります。こうした伝統的な技術は、時代のさまざまな変化を受け入れ、工夫を重ねながら新しい文化としての創造活動を伴いながら、私たちの生活をより豊かなものにしています。「伝統工芸」とは、その地域から産出される素材を元に、長い年月にわたり継承している技術が用いられた、工芸や美術のことをいいます。また伝統工芸を用いてできた作品を「伝統工芸品」といいます。

伝統工芸の特徴

1. 熟練した技が必要
2. 手工業である
3. 日常生活で使われている
4. 代々長い歴史がある

主な伝統工芸の種類



染物



着物



漆器



こけし



雛人形



風鈴



浮世絵



陶磁器



扇子



ガラス細工 ガラス



足袋



日本刀

1. 熟練した技が必要

100年以上継承され、改良され今日に至った伝統的技術・技法で製造されたもの。技術や技法は長い年月の間に多くの職人によって「技術が磨かれ」「素材や原材料の選択などの知恵・製法の技法」が継承されてきた。

2. 手工業である

伝統工芸品の歴史は数百年にも前に始まるものもあります。当初は全て手作りであったが、歴史の変遷の過程で機械化が導入される工程も取り入れられている。今日では伝統工芸品は全て手作りでなくても差し支えないということになっている。製品の特徴を形態・デザイン・品質を継承する工程は「手作り」でなければなりません。加工工程などで機械化することも可能とされている。

3. 日常生活で使われている

伝統工芸品は、日常生活で使われるものであること。生活用具として、節句や季節行事などで長い間多くの人たちによって使われている。改良されながらも、用途や素材・色・紋様・形は日本人の生活様式と深く関わりながら今日に継承されている。

4. 代々長い歴史がある

伝統工芸品に使われている素材や原料は、自然のものが使用されその持ち味が活かされている。これらの素材や原材料が100年以上に渡り厳選・吟味され今日に継承されている。

京都の伝統工芸

- 京漆器
- 京友禅
- 北山丸太
- 京くみひも
- 京焼・清水焼
- 京扇子
- 京うちわ
- 京人形
- 京菓子



京都の代表的な伝統工芸

長い歴史をもつ京都には、約70種類もの伝統工芸が今に伝えられています。それらは産業であると同時に日本の歴史・文化そのものともいえます。最近では、観光客にもっと理解してもらうために見学や実技体験のできる工房もあります。

私たちの修学旅行では、「清水焼」の体験学習を行う予定でいます。実際に体験をする前に、「清水焼」について知識を深め、時間をかけてデザインを考えて世界に一つだけの思い出に残るマグカップを作りましょう。



京都の伝統工芸品「清水焼」 調べ学習



「修学旅行に行くぞー！！」という願いを込めて、第3学年一同より課題を出します。

<内容>

- (1) 京都の伝統工芸品である「清水焼」について調べ学習する。
- (2) 「清水焼」の絵付けデザインを考える。

<方法>

- (1) A4サイズの白紙用紙1枚（各自で用意してください）
- (2) 用紙は縦向きで使用する。
- (3) 用紙の上側に「清水焼」の歴史や特徴、製造工程等を記入する。
※横書きで記入すること。
- (4) 用紙の下側に清水焼の絵付けデザインを描く。
- (5) インターネットから調べてきた情報を利用して作成する。
※手書きで作成すること。
- (6) タイトルは、「清水焼」ではなく自分で考えること。
- (7) 用紙のレイアウトは自由。下の図を参考にして、氏名も忘れずに記入する。
- (8) 文字は鉛筆書きでも可。
- (9) 絵付けのデザインは、色をつけて描くこと。
- (10) 学校再開後に提出。後日、掲示予定。



<レイアウト見本>

風情を感じるマグカップ		氏名
歴史	製造工程	
特徴		
「清水焼」オリジナルデザイン		

修学旅行の体験学習で使用する
絵具の色は
【赤・青・黄・黒・白】
で、絵具の色を混ぜて新たな
色を作れます。体験当日
は筆と絵具を使って
1時間以内で作成します。
実際には円柱の形になりま
すが、長方形でデザインし
てください。